

食料・農業・農村政策審議会基本法検証部会 地方意見交換会

令和5年7月20日

株式会社萩原農園

代表取締役 萩原拓重

株式会社萩原農園の概要

自己紹介

平成14年 農業者大学校卒業後就農 現在43歳

平成30年～ 東北農研センターアドバイザーボード委員



経営の概要

水稻（4品種）13ha 加工用もち米、醸造用米、主食用米

大豆（9品種）12,5ha 納豆用、大豆菓子等

玉ねぎ等露地野菜30a 直売所、学校給食

過去20年の変化

- ▶ 父より経営移譲→法人化
経営管理の高度化
- ▶ 経営面積 10ha→26ha
農地の集約化によって作業性向上
- ▶ 集落の農家数 25件→10件（実際の耕作者 5件）
共同での管理作業が困難、作業負担増
- ▶ 自社規模拡大の半面の離農者 20年で15件の農家が離農
農家というアイデンティティを持つ人が飛躍的に減少
農業が盛んといわれる当地でも「食」と「農」の距離が離れつつある実感



自社製品 萩原農園の大豆菓子

農業生産を継続していくために

- ▶ 地域での理解が必要不可欠
地産地消の実践
- ▶ 地域農業の関係人口の維持
食農教育のさらなる推進
- ▶ 食料・農業・農村が持続可能であるために
より強い発信が必要

国を挙げてのアナウンスをお願いしたい

